

# 第1学年 国語科学習計画（シラバス）

## 【第1学年 国語科の目標】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
- (2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができる。
- (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。

## 1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① はるが きた ② おはなし ききたいな ③ なんて いおうかな ④ かく こと たのしいな ⑤ どうぞ よろしく ⑥ こんな もの みつけたよ ⑦ うたに あわせて あいうえお ⑧ ことばのたいそう ⑨ はなの みち ⑩ としょかんへ いこう ⑪ かきと かぎ  ⑫ ぶんを つくろう ⑬ ねこと ねっこ  ⑭ わけを はなそう ⑮ おばさんと おばあさん  ⑯ あいうえおで あそぼう  ⑰ つほみ ⑱ おもちやと おもちゃ  ⑲ おおきく なった ⑳ おおきな かぶ ㉑ はをへを つかおう  ㉒ すきな こと、なあに ㉓ おむすび ころりん ㉔ こんな ことが あったよ ㉕ としょかんと なかよし ㉖ ことばのたいそう  ㉗ やくそく ㉘ かたかなを みつけよう ㉙ うみの かくれんぼ ㉚ かすと かんじ	① 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなげる。 ② 読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 ③ 丁寧な言葉と普通という言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れる。 ④ 句読点の打ち方、かぎの使い方を理解して文や文章の中で使う。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使う。 ⑤ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ⑥ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ⑦ 音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話す。 ⑧ 音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話す。 ⑨ 話のまとまりや言葉の響きなどについて気を付けて音読する。 ⑩ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 ⑪ 濁音、半濁音などの表記、句読点の打ち方、かぎの使い方を理解して文や文章の中で使う。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使う。 ⑫ 文の中にある主語と述語の関係に気付く。 ⑬ 促音などの表記、句読点の打ち方、かぎの使い方を理解して文や文章の中で使う。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使う。 ⑭ 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 ⑮ 長音などの表記、句読点の打ち方、かぎの使い方を理解して文や文章の中で使う。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使う。 ⑯ 長音、拗音、促音、擬音などの表記、句読点の打ち方、かぎの使い方を理解して文や文章の中で使う。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使う。 ⑰ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える。 ⑱ 拗音などの表記、句読点の打ち方、かぎの使い方を理解して文や文章の中で使う。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使う。 ⑲ 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。 ⑳ 話のまとまりや言葉の響きなどについて気を付けて音読する。 ㉑ 助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使う。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使う。 ㉒ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ㉓ 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむ。 ㉔ 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。 ㉕ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 ㉖ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 ㉗ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える。 ㉘ 片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使う。 ㉙ 文章の中の重要な語や文を考えて選り出す。 ㉚ 第1学年に担当されている漢字を読み書きし、文や文章の中で使う。
2学期	㉓① くじら くも ㉓② まちかいを なおそう ㉓③ しらせたいな、見せたいな ㉓④ かん字の はなし ㉓⑤ ことばを たのしもう ㉓⑥ じどう車くらべ ㉓⑦ じどう車すかを つくろう ㉓⑧ かたかなを かこう ㉓⑨ どんな おはなしが できるかな ㉓⑩ たぬきの 糸車 ㉓⑪ 日づけと よう日 ㉓⑫ てがみで しらせよう  ㉓⑬ むかしばなしを よもう ㉓⑭ ことばのたいそう  ㉓⑮ これは、なんでしょう ㉓⑯ すうっと、すっと大ききだよ ㉓⑰ にている かん字 ㉓⑱ いいこといっぱい、一年生	㉓① 場面の様子や登場人物について、想像を広げながら読む。 ㉓② 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりする。 ㉓③ 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。 ㉓④ 第1学年に担当されている漢字を読み書きし、文や文章の中で使う。 ㉓⑤ 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付く。 ㉓⑥ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える。 ㉓⑦ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ㉓⑧ 平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使う。 ㉓⑨ 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなげる。 ㉓⑩ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。 ㉓⑪ 第1学年に担当されている漢字を読み書きし、文や文章の中で使う。 ㉓⑫ 丁寧な言葉と普通という言葉との違いに気を付けて使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 ㉓⑬ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 ㉓⑭ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。 ㉓⑮ 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなげる。 ㉓⑯ 第1学年に担当されている漢字を読み書きし、文や文章の中で使う。 ㉓⑰ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。 ㉓⑱ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。

## 身に付けさせたい力

評価の観点	国語科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なことを表す語句の量を増やし、話の中や文章の中で使うことができる。</li> <li>・点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。</li> <li>・文の中の主語と述語の関係に気付くことができる。</li> <li>・いろいろな本があることを知り、読書に親しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークテスト</li> <li>・学習カード</li> <li>・ノート</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なことや経験したことなどから話題を決めて、相手と伝え合っている。</li> <li>・内容を落とさないように集中して聞き、感想を考えている。</li> <li>・語と語や文と文の続き方に注意しながら、文章を書いている。</li> <li>・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えて読んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事柄の順序を考えて、相手に伝わるようにすすんで話している。</li> <li>・学習の課題に沿って、積極的に尋ねたり、応答したりしている。</li> <li>・積極的に学習した平仮名や片仮名、漢字を使って、文や文章を書いている。</li> <li>・積極的に読書に親しみ、役割を決めて音読したり、演じたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・ワークシート</li> </ul>

## 家庭へのおお願い

- 子供が話す話を、たくさん聞いてください。
- 自分の伝えたいことを最後まで言えるように聞いてください。
- 日頃から丁寧な言葉遣いを意識させるようにしてください。相手の目を見て話をするなど、会話をする上での基本的なことを大切にしてください。

## 第1学年 算数科学習計画（シラバス）

### 【第1学年 算数科の目標】

- (1) 数の概念や計算の意味を理解し、量や図形については基本的な経験を重ねることができる。また、たし算・ひき算の計算をしたり、身の回りにある量の大きさを比べて簡単な絵や図に表したりすることができる。
- (2) 具体物を用いて数の数え方や計算の仕方、具体的な操作活動を通じて形の構成、身の回りにある量の大きさを比べる方法を考えることができる。
- (3) データの個数に注目して、身の回りの事象の特徴を捉え、これらのことを含めて、算数のよさや楽しさを感じながら学習をしようとする。

### 1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① なかまづくりとかず ② なんばんめ ③ あわせていくつ ふえるといくつ  ④ のこりはいくつ ちがいはいくつ ⑤ どちらがながい ⑥ わかりやすく せいりしよう  ⑦ 10よりおおきいかず ⑧ なんじなんじはん ⑨ 3つのかずのけいさん ⑩ どちらがおおい	① 数のまとまりに着目し、数の大きさや比べ方や数え方を考える。 ② 順序数について理解する。 ③ 数量の関係に着目し、具体的な操作を通して加法の意味を考える。式の表し方や式の読み取りを通して加法の意味を考える。 ④ 数量の関係に着目し、具体的な操作を通して減法の意味を考える。 ⑤ 身の回りにあるものの長さに着目し、直接比較や間接比較、任意単位による長さの比べ方を考える。 ⑥ データの個数に着目し、身の回りの事象の特徴を捉える。整理したのちから考察し、結果に基づいて改善する。 ⑦ 数のまとまりに着目し、数の構成と表し方を考える。 ⑧ 時計の短針と長針の関係に着目し、時刻を読んだり表したりする。 ⑨ 繰り上がり、繰り下がりのある加減計算をする。 ⑩ 身の回りのものの特徴に着目し、体積の比べ方を考える。日常生活にある量の大きさを比べる活動をする。
2学期	⑪ たしざん ⑫ かたちあそび  ⑬ ひきざん ⑭ おおきいかず ⑮ どちらがひろい  ⑯ なんじなんじはん ⑰ たしざんとひきざん ⑱ かたちづくり	⑪ 「10といくつ」という見方に着目し、計算の仕方を考える。 ⑫ ものの形に着目し、立体図形の特徴や機能を捉える。それぞれの形の構成要素を明確にする。立体図形を構成する面の形に着目し、立体図形の特徴を捉える。 ⑬ 「10といくつ」という数の見方に着目し、計算の仕方を考える。 ⑭ 数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方と数え方を考える。 ⑮ 身の回りのものの特徴に着目し、面積の比べ方を考える。日常生活にある量の大きさを比べる。 ⑯ 5分刻みの読みから1分刻みの読みをする。 ⑰ 数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考える。 ⑱ ものの形に着目し、平面図形の特徴をとらえる。

### 身に付けさせたい力

評価の観点	算数科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の概念や計算の意味を理解できる。</li> <li>・加法及び減法の計算ができる。</li> <li>・量の大きさを比べ、簡単な絵や図に表すことできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・ワークテスト</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の数え方や計算の仕方を考えようとしている。</li> <li>・形がどのような要素で構成されているか考えようとしている。</li> <li>・身の回りの量の大きさを比べる方法を考えようとしている。</li> <li>・データの個数に注目して、身の回りの出来事の特徴を捉えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・発言</li> <li>・ノート</li> <li>・ワークテスト</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数や図形に親しもうとしている。</li> <li>・算数で学んだことのよさや楽しさを感じようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の様子</li> </ul>

### 家庭へのお願い

○算数で学んだことを生かす場面を、生活の中で経験させてください。

○宿題の確認をお子様と一緒に、間違えた問題をその場で直すようにしてください。

○アナログ時計を使って5分読み等を行い、時間の感覚を経験させてください。

## 第1学年 生活科学習計画（シラバス）

### 〔第1学年 生活科の目標〕

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができる。
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにしている。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしたりしようとしている。

### 1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① はじめのいっぽ ② わくわくどきどきしょうがっこう ③ きれいにさいてね、わたしのはな ④ きせつとなかよし はる なつ ⑤ なかよくなるうね 小さなともだち	① 絵を見て気付いたことや、国語の教科書と比べて見付けたことを話して、教科書を見ることや気付いたことを話すことを楽しむ。仲良くなるためにはどんなことをするとよいのか考えたり、話したりする。 ② 「わくわくどきどきしょうがっこう」という言葉や写真などから、これからやってみたいことを考えたり、話したりする。校内の施設や設備を探検し、校内にはいろいろな部屋があり、教室にはない設備や道具があることに気づき、表現する。 ③ アサガオなどの植物を育てる活動を通して、植物が育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかける。育てている植物に合った世話の仕方や、植物が自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気づき、植物への親しみをもつ。 ④ 春や夏の自然に対して諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、春や夏の特徴や違いを見付ける。それらを使って遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりする。 ⑤ 動物や虫などを育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持って働きかける。育てている生きものに合った世話の仕方や、生きものが自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気づき、親しみをもって大切にする。
2学期	⑥ きせつとなかよし あき ⑦ かぞくにここにこ だいさくせん ⑧ きせつとなかよし ふゆ ⑨ もうすぐ 2年生	⑥ 秋の自然に対して諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見付けることや、それらを使って遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりする。 ⑦ 家庭生活に関わる活動を通して、家庭での楽しみ、家庭における自分の生活や役割などについて考える。 ⑧ 冬の自然に関わる活動を通して、冬の特徴や春や夏、秋との違いを見付け、遊びや遊びに使うものを工夫して作る。 ⑨ 自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々について考えることができる。自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、成長への願いをもって、意欲的に生活する。

### 身に付けさせたい力

評価の観点	生活科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での様々な人や施設との関わりが分かり、楽しく安心して生活できる。</li> <li>・家庭生活では、自分の役割を積極的に果たし、規則正しく健康に気を付けて生活できる。</li> <li>・地域に関わる活動では、自分たちの生活は様々な人や場所と関わり、それらに親しみや愛着をもち、安全に生活できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・発言</li> <li>・ノート</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共物や公共施設を利用する活動を通して、よさを感じ取り、大切にし、安全に正しく利用しようとしている。</li> <li>・身近な自然を利用したり、物を使ったりするなどの遊ぶ活動を通して、面白さや自然の不思議さに気づき、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしている。</li> <li>・動物を飼ったり、植物を育てたりする活動を通して、生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・発言</li> <li>・ノート</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分や支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、支えてくれた人々への感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・発言</li> <li>・計画書</li> </ul>

### 家庭へのお願い

○その日あった出来事の話や、たくさん聞いてあげてください。

○家族の一員として、役割を与え、できることが増えていく経験をさせてください。

○いろいろな体験や経験をさせてください。

## 第1学年 音楽科学習計画（シラバス）

### 【第1学年 音楽科の目標】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付ける。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを 見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。
- (3) 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする。

### 1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① うたって うごいて みんなでおんがく	① みんなで一緒に歌ったり、踊ったりして友達をつくる。 みんなで遊びながら、楽しく歌う。
	② はくとリズム	② 音楽に合わせて体を動かしたり、リズムを打ったりする。 たん たん たん うん のリズムを打ったり、リズムで遊んだりする。
	③ にっぽんのうた みんなのうた	③ 音楽に合わせてリズムを打ちながら聞く。 たん と たた の違いに気付いて、リズムを打つ。 たん と たた を使って、言葉でリズムをつくる。
	④ どれみと なかよし	④ 階名に親しみ、音の高さに合わせながら体を動かしながら聴いたり、歌ったりする。
	⑤ こんにちは けんぱんハーモニカ	⑤ 鍵盤ハーモニカでいろいろな音を見付け、鍵盤ハーモニカに親しむ。 ドレミファソの場所を覚える。音の高さに気を付けながら歌う。
	⑥ うたのもりあがり	⑥ 旋律のまとまり、盛り上がりを感じながら歌う。
2学期	⑦ ねいろとつよさ	⑦ いろいろな楽器で様々に試しながら音を出したり、音の特徴を探したりしてお気に入りの音を見付け、つなげたり、音楽の簡単な終わり方を考えたりする。
	⑧ うたでまねっこ	⑧ 呼びかけ合って歌ったり、歌と楽器を合わせて演奏したりして、重なり合う音の響きを感じる。 歌詞の内容からどのように歌うか意見を出し合い演奏する。
	⑨ ねこのなきごえであそぼう	⑨ 猫のいろいろな鳴き声をいろいろな声で試しながら、友達と呼びかけと答えの仕組みを使って音遊びをする。
	⑩ おんがくのながれ	⑩ 拍の流れや鳴き声に合わせて体を動かしながら曲を聴き、曲のよいところ、面白いところを見付ける。
	⑪ みんなでおんがく	⑪ 曲の気分を感じ取り、歌詞の表す様子を考えながら、リズム打ちをしたり、リズムを重ねたりする。 互いの声や伴奏を聴いて歌う。
	⑫ ほしぞらのおんがくをつくろう	⑫ 星空の様子を思い浮かべながら、歌ったり、演奏したりする。 星空の様子を表す音楽をつくる。 歌詞から様子を思い浮かべて歌う。

### 身に付けさせたい力

評価の観点	音楽科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の表す様子、旋律、リズムや拍などと曲想との関わりに関心を持ち、声を合わせて歌うことができる。</li> <li>音の高さに気を付けながら、階名で歌ったり、鍵盤ハーモニカを演奏したりすることができる。</li> <li>音の重なりや呼びかけとこたえなどを用いて音楽をつくることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発言</li> <li>行動観察</li> <li>ワークシート</li> <li>演奏聴取</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の声の出し方について思いをもったり、リズムや拍と曲想との関わりから曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。</li> <li>鍵盤ハーモニカの音の響きや旋律の違いを生かした表現の仕方について思いをもっている。</li> <li>リズムの違いを生かして表現することに思いをもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発言</li> <li>行動観察</li> <li>ワークシート</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒に声を合わせて歌ったり、体を動かしながら音楽を聴いたり、音の特徴を意識して鍵盤ハーモニカを演奏したりする学習に楽しんで取り組んでいる。</li> <li>身の回りの音に興味・関心を持ち、友達と協力して音を探したり即興的な音遊びをしたりする学習に楽しんで取り組んでいる。</li> <li>曲想に合った表現を工夫し、友達と声や音色を合わせて表現する学習に楽しんで取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発言</li> <li>行動観察</li> <li>ワークシート</li> </ul>

### 家庭へのおお願い

- 鍵盤ハーモニカを吹いた際の水筒を拭くために、タオルを袋に入れて持参させてください。使用した後は、適宜持ち帰りますので、洗濯して清潔な物を持たせてください。
- 状況に応じて、学習した鍵盤ハーモニカの曲をご家庭で練習してください。その際、お子さんの演奏を聴いていただくと励みになると思いますので、ご協力をお願いします。
- 日常生活において、流れている音楽にお子さんと一緒に関心を広げてみてください。

## 第1学年 図画工作科学習計画（シラバス）

### 【第1学年 図画工作科の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができる。
- (2) 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。
- (3) 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする。

### 1年間の学習内容

学期	学習する題材名	主な学習内容
1学期	① じぶんのかお ② 「じぶんマーク」でみんな ともだち ③ ねんどたいそう  ④ はたらく消防の写生会 ⑤ くるくるへびくん ⑥ ちょきちょきオリンピック ⑦ ちょっくんばでかざろう ⑧ ひもひもねんど  ⑨ やふいたかたちから うまれたよ ⑩ はるはる おはながみのえ ⑪ ごちそうパーティーはじめよう  ⑫ カラフルいろみず	① クレヨンやパスなどを使いながら自分の顔や好きなものを描くことを楽しむ。 ② クレヨンやパスなどを使いながら自分マークをつくり、紹介し合っ楽しむ。 ③ 粘土の塊に触れた感触を味わいながら、思い付いたことを試して、いろいろな形や触った感じなどを捉えながら、活動を工夫してつくることを楽しむ。 ④ クレヨンやパスなどを使いながら消防車をよく見て楽しく絵に表す。 ⑤ はさみの扱いに慣れ、クレパスを使いながら楽しくつくる。 ⑥ はさみの扱いに慣れ、紙の切り方や貼り方を工夫して、楽しく表す。 ⑦ はさみの扱いに慣れ、紙の切り方を工夫して、教室が楽しい感じになる飾りをつくる。 ⑧ 粘土を紐状にしながらか表したいことを見付け、様々な形や触った感じなどを捉えながら、表し方を工夫し、立体に表す。 ⑨ 破いた紙を並べたり、組み合わせたりしながら、楽しく絵に表す。 ⑩ 花紙を貼って、偶然にできる形や色、重なり、感触などの面白さを楽しみながら表現する。 ⑪ 様々な食べ物の形を思い浮かべて表したいことを見付け、表し方を工夫して、表すことを楽しむ。 ⑫ 様々な色の水をつくったり、できた色水を並べたりするなど試しながら、活動を工夫してつくることを楽しむ。
2学期	⑬ でこぼこはっけん！  ⑭ みのむしくん ⑮ おってたてたら  ⑯ によきによきとびだせ  ⑰ はこでつくったよ  ⑱ クルクルまわして ⑲ いっしょにおさんぽ  ⑳ ようこそ1ねんせい	⑬ 身の回りにある「でこぼこ」を見付け、様々な形や触った感じなどを捉えながら写し、写し取った形の面白さを味わい、見方や感じ方を広げる。 ⑭ 凸凹を写した紙を使って楽しくつくる。 ⑮ 紙を折って立てることから表したいこと見付け、切ったりかいたりするなど表し方を工夫して、表すことを楽しむ。 ⑯ 息を吹き込むと膨らむ仕組みを使った楽しいおもちゃを発想したり構想したりして、いろいろな形や色などを捉えながら、表し方を工夫して表す。 ⑰ 箱を積んだり、並べたり、つなげたりする活動を楽しみながら、表したいことを見付け、様々な形や色などを捉えながら、工夫して立体に表す。 ⑱ 紙コップでつくる風を当てると回る仕組みを基に、面白い動きになるように、楽しく回る飾りや模様を工夫したり、友人とともに回る様子を楽しんだりする。 ⑲ 一緒に散歩に行きたい仲間を思い浮かべて表したいことを見付け、工夫して表す。 ⑳ 新1年生の入学をお祝いする飾りをつくる。

### 身に付けさせたい力

評価の観点	図画工作科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の行為を通して、形や色などに気付いている。</li> <li>・身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・発言内容</li> <li>・ワークシートや作品評価</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・発言内容</li> <li>・ワークシートや作品評価</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・発言内容</li> <li>・ワークシートや作品評価</li> </ul>

### 家庭へのおお願い

- 必要な材料を準備するときには、ぜひお子さんと一緒に楽しみながら探してください。子供にとって大人と一緒に材料探しは楽しいだけでなく勉強になります。また、自分で探すことで、この材料でこんな物を作りたいと発想を広げることができます。
- 持ち帰った作品については、人と比べることはせず、どのような想いで作ったのかを聞いてみてください。また、自分で作った作品を丁寧に扱ってもらえないのは悲しいものですので、作品は大切に扱ってください。
- 道具を最後まで大切に使うことや安全に気を付けて使うことを、ご家庭でも伝えてください。

## 第1学年 体育科学習計画（シラバス）

### 【第1学年 体育科の目標】

- (1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、運動遊びの課題、行い方のきまり、用具の使い方、場の安全確保等、各種の運動遊びの行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付ける。
- (2) 各種の運動遊びの運動遊びをする場や練習の仕方などを自らの力に応じて工夫したり、選択したりするとともに、考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) 各種の運動遊びにすすんで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をしようとする。

### 1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 体ほぐしの運動遊び ② ゲーム（鬼遊び） ③ 走・跳の運動遊び ④ 器械・器具を使った運動遊び ⑤ 水遊び ⑥ 表現リズム遊び	① 手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなと関わったりする。 ② 一定の区域で、逃げる、追いかける。 ③ いろいろな方向に走ったり、低い障害物を乗り越えたりする。前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりする。 ④ 登り下りや懸垂移行渡り歩きや跳び下りをする。いろいろな方向への転がり、手で支えての体の支持や回転をする。支持しての揺れや上がり下り、ぶら下がりや易しい回転をする。 ⑤ 水の中を移動したり、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりする。 ⑥ 身近な題材の特徴を捉え、全身で踊る。
2学期	⑦ 表現リズム遊び ⑧ 器械・器具を使った運動遊び ⑨ ゲーム（鬼遊び） ⑩ ゲーム（ボール遊び） ⑨ 走・跳の運動遊び ⑩ 多様な動きをつくる運動遊び	⑦ 軽快なリズムに乗って踊る。 ⑧ 跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをする。 ⑨ 陣地や宝などを取り合うなどをする鬼遊びをする。 ⑩ 簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをする。 ⑨ いろいろな方向に走ったり、低い障害物を乗り越えたりする。前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりする。 ⑩ 体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをする。

### 身に付けさせたい力

評価の観点	体育科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の行い方を知っており、基本的な動きを身に付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カード</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動遊びの場や練習の仕方などを自らの力に応じて工夫したり、選択したりしている。</li> <li>・自分が考えたことや工夫したことを仲間や全体へ伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カード</li> <li>・仲間への声かけ</li> <li>・観察</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守り、誰とでも仲良くすすんで運動遊びをしている。</li> <li>・友達の考えや動きを認めている。</li> <li>・場や安全に気を付けて運動遊びをしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・発言</li> </ul>

### 家庭へのおお願い

- 体調管理や健康観察を毎日行い、児童が自分の体調に合わせて過ごしたり、運動したりできるようにしてください。
- 家族みんなでスポーツや体を動かす遊びに親しみ、楽しみながら体力づくりができるようにしてください。
- 体の柔軟性を高めるために、お風呂上がりにストレッチをしてください。

## 第1学年 道徳科学習計画（シラバス）

### 【第1学年 道徳科の目標】

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

### 1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① わたしのすきなこと ② みんないっしょ ③ あいさつをすると ④ きもちがよいのは？ ⑤ がっこうにはね…… ⑥ きをつけて ⑦ がっこうのものは？ ⑧ ハムスターのあかちゃん ⑨ うかんだうかんだ ⑩ はしのうえのおおかみ ⑪ ぼくのあさがお ⑫ ときどきどっきんぐ ⑬ あめがあがって ⑭ みんなだれかに ⑮ よりみち	① 自分のよさについて考える。 ② 公正・公平・社会主義について考える。 ③ 礼儀について考える。 ④ 節度、節制について考える。 ⑤ 感謝について考える。 ⑥ 節度、節制について考える。 ⑦ 規則の尊重について考える。 ⑧ 生命の尊さについて考える。 ⑨ 頑張る心について考える。 ⑩ 親切、思いやりについて考える。 ⑪ 自然愛護について考える。 ⑫ 生命の尊さについて考える。 ⑬ 感動、畏敬の念について考える。 ⑭ 感謝について考える。 ⑮ 規則の尊重について考える。
2学期	⑯ ぼくのしごと ⑰ こぐまのらっぱ ⑱ ダメ ⑲ こころはっぱ ⑳ ほかのくにからきたたべもの ㉑ かぼちゃのつる ㉒ みつけてみよう ㉓ どんぐり ㉔ はなばあちゃんかわらった ㉕ どうぶつのかぞく ㉖ ええところ ㉗ おうだんほどうで ㉘ みんなのボール ㉙ 二わのことり ㉚ おたんじょうびカード ㉛ それって、おかしいよ ㉜ ぼくのはなさいたけど ㉝ もうすぐはるです ㉞ もうすぐ二ねんせい	⑯ 勤労、公共の精神について考える。 ⑰ 希望と勇気、努力と強い意志について考える。 ⑱ 善悪の判断、自律、自由と責任について考える。 ⑲ 友情、信頼について考える。 ⑳ 国際理解、国際親善について考える。 ㉑ 節度、節制について考える。 ㉒ 伝統と文化の尊重、国と郷土を愛する態度について考える。 ㉓ 正直、誠実について考える。 ㉔ 親切、思いやりについて考える。 ㉕ 家族愛、家庭生活の充実について考える。 ㉖ 個性の伸長について考える。 ㉗ 礼儀について考える。 ㉘ 規則の尊重について考える。 ㉙ 友情、信頼について考える。 ㉚ 生命の尊さについて考える。 ㉛ 善悪の判断、自律、自由と責任について考える。 ㉜ 親切、思いやりについて考える。 ㉝ 自然愛護について考える。 ㉞ よりよい学校生活、集団生活の充実について考える。

### 身に付けさせたい力

道徳科を要とする道徳教育を通して、期待される具体的な姿

- ・わがまをしないで、規則正しい生活をする事ができる。
- ・友達と仲よくし、助け合うことができる。
- ・よいことはすすんで行おうとしている。
- ・気持ちのよい挨拶をしようとしている。
- ・生きることを喜び、生命を大切にしようとしている。
- ・自らを振り返って成長を実感しようとしている。
- ・これからの課題や目標を見付けようとしている。

### 家庭へのおお願い

- 主体的に考え、自分の生き方を追求することができるように、日頃からいろいろな視点に気付かせるように広い視野でお子さんと話をしてください。
- 道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うため、したことを評価するのではなく、これからどうしていきたいか、どうしたらよりよい生活が送れるかを、折に触れお子さんと一緒に考えてください。
- お子さんの成長に気付かせるために、様々な場面で見られるお子さんのよりよい行動を見付けて、それを伝え、意欲の向上につなげてください。